

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援 はにーびー		
○保護者評価実施期間	2024年11月 6日		2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年11月 6日		2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の支援を実施するにあたり、職員を多く配置してより安全に配慮した体制を構築しております(2024年度は、お子様1.2名に対し職員を1名配置)。	職員を間雲に多く配置するのではなく、ご利用になられるお子様の特性や発達段階を鑑み、職員の配置数を検討しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持するために、求人サイトへの情報更新等をしながら、良い人材の確保を継続したいと考えております。
2	お子様の支援・保育経験の長い職員(児発管・保育士・児童指導員)が多く、また、セラピスト(作業療法士・言語聴覚士)も従事しているため、多角的な視点からの支援を実現しております。	通所されるお子様が、まずは楽しく通えるよう明るい雰囲気での支援を第一に心掛け、その上で、各職員がお子様の特性にあわせた支援を検討し、実施しております。また、朝礼では、来所されるお子様のご様子の展開を必ず実施し、職員間の情報共有に努めております。	職員間での情報共有、ケース会議などの実施を推進し、研修・自己研鑽のサポートなどによる職員の資質向上にも努めて参りたいと考えております。
3	広く清潔な室内での支援を実施しており、毎月の制作や季節のお歌・運動(粗大・微細)・食育など、将来の自立を念頭に5領域を網羅した発達支援を実施しております。	制作物の提案や年間行事の検討など、職員間で意見を出し合い、決めております。また、施設内は4S(整理・整頓・清掃・清潔)を心掛け、来所時の安全を最優先としながら、日々、お子様の支援を実施しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持するために、4Sの継続を実施したいと考えております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	弊所室内はバリアフリー化しておりますが、マンションの入口が階段のため、昇降時に見守りが必要となります。	建築物の構造となります。	来所時や外出時など、階段の昇降が必要な場合は、必ず、職員がお子様と手をつなぎ、さらに、お子様が手すりを持ちながら、ゆっくりと昇降しております。
2	他の施設などで、弊所として他のお子様と活動する機会が少ない。	徐々に始めておりますが、まだ、多くの保護者様に展開できておりませんでした。	お子様の通われている学校などとの相互情報交換や職員の見学をさらに進めて参りたいと考えております。また、図書館や公共施設での他のお子様とのふれあいなども、通所されているお子様のご様子に留意しながら、検討したいと考えております。
3	保護者様同士の情報交換の場の提供が実現できておりません。	開催日や保護者様のニーズの多様性の検討。	保護者様のニーズを確認させていただき、職員間にて検討したいと考えております。また、開催日については、多くの保護者様のお休みの日となると日曜日や休日となることが考えられることから、勤務できる職員の確保なども含め検討いたします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型児童発達支援 はにーびー

公表日 2025年 2月 22日

利用児童数

2

回収数

2

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、日々の安全な活動のために、訓練室は広いスペースを確保できるように留意いたします。加えて、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		職員の顔写真を施設内に掲示する等、工夫しながら実施したいと考えております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		マンションの2階へ上がる階段の昇降時には、職員と手をつなぎ、手すりを持ってゆっくりと移動する等、安全に留意した行動を継続いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2	0	0	0		発達支援室は4Sを心掛け、今後も障害物になる物の収納等を継続いたします。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	0	0	1		現在、徐々にではありますが、他の保育園様との職員同士の交流を、計画しながら進めております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	0	0		研修会などがあれば参加したり、お知らせをさせていただきますと思います。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	1		現在は、保護者様がご来所いただけるイベントは、はにーびー夏祭りのみとなっております。今後、職員で話し合い、保護者様からのニーズをお聞きしながら、計画を進めて行きたいと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0	お子様が楽しく通所できるよう、楽しい雰囲気を持続しながら、支援の実施を心掛けます。 今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0	お子様が楽しく通所できるよう、楽しい雰囲気を持続しながら、支援の実施を心掛けます。 今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	今後、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。 職員の顔写真を施設内に掲示する等、工夫しながら実施したいと考えております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童発達支援 はにーびー				公表日	2025年 2月 22日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	限りあるスペースで事故やケガが起こらない様に職員を配置しております。支援室には怪我の元となる物品等は極力置かず、職員室へ収納しております。	構造上仕方がないですが、自由な区切りができず、全体的に狭くはないが、運動をする際などには狭く感じる時があります。 トイレが1つしかない為、外出前やお食事前など混雑してしまうことがあり、手洗いとの動線が難しく感じることがあります。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	現在、お子様1.2名に対し、職員を1名配置しております。ご利用されるお子様の低年齢化もあり、経費等を鑑みながら、安全に支援ができる体制を整えております。	しっかりとした個別療育や外出すると、不足していると感じる場合があります。 療育に対する人数は足りていても、その他の業務では足りないことがあるため、仕事量を減少させる等の工夫を考えたい。 職員を多く配置しているが、1対1対応が必要なお子様が多く来所されます。 外出プログラム時は、もう少し職員人数がいると安心できます。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	施設内はバリアフリー化で段差の無い構造となっておりますが、マンション入口には階段があります。送迎時や外出時は、お子様と手をつなぎながら、手すりを持ち、ゆっくり昇降するなどの対応を心掛けております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	業務終わりには掃除と消毒を行い、4Sを実施して、清潔で快適な空間となる様心掛けております。 小学生のお子様の支援内容について、お子様が楽しいと感じていただけるプログラムの検討を実施したいと考えております。	未就学のお子様の支援が優先になりがちで、しっかり個別で見る時間が少ないと感じます。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	支援室の他に相談室を設けており、クールダウン時などに適宜、使い分けを行っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	日々の振り返りからのPDCAサイクルを回しながら、支援プログラムの向上を図っています。	出勤日数等により、一部の職員に偏っている傾向があるため、全体で話し合う時間があれば、なお望ましいと考えます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	保護者様から頂戴したご意見をもとに、会議にて検討し、今後のはにーびーの運営に反映しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	会議や本アンケートを通して、職員の意見を把握し、働きやすい職場となる様、業務改善を進めていきたいと考えております。	会議を増やし増やしたく、可能であれば月1会議などが出来れば望ましいと考えます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	あかし療育図鑑様の外部評価を実施しております。まだ、結果公表まで至っておりませんが、評価が出ましたら、内容を鑑み、業務改善を行いたいと考えております。	支援の内容やプログラムなど、客観的な視点やアドバイスを頂きたいと考えております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	現在、弊社では、必須の研修は事業所内で実施し、それ以外の自己研鑽に関する研修は、外部研修を申し込む等で対応しております。なお、自己研鑽に関する研修は、会社より補助を出しております。	法人内での研修回数が少ないため、事業所内研修の機会を作りたいと考えております。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	多機能型児童発達支援 はにーびーのホームページにて掲載しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	主に保護者様からのニーズを聞き取り、また、日々の弊所でのご過ごし方等も鑑み、個別支援計画を作成しております。	まだ、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、ニーズの聞き取りは、保護者様主体となってしまおう。		
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	個別支援計画を作成した後、各職員への回覧や朝礼時の児童管からの連絡などで水平展開を図っております。	直接支援を行う現場職員では、時間の捻出が難しく、共通理解するまで至っていない場合があります。今後は、会議等の機会にも展開するように心掛けたいと考えております。		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	個別支援計画を作成した後、各職員への回覧や朝礼時の児発管からの連絡などで水平展開を図っております。	いつでも計画書を見れる環境ではありますが、共有や話し合いまでとなると少し不十分かもしれません。共有はされていますが、毎度計画に沿っているかと言われると、必ずそうとは言いきれない場合があるため、今後の課題として考えております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	弊所では、標準化されたアセスメントツールである郡山市のアセスメントシートや5領域20項目チェックシートを使用し、お子様のアセスメントを行っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	各項目の内容を踏まえながら、個別支援計画を作成しておりますが、今後も、さらに具体的な内容となるように計画内容の見直しを継続して行っていきたいと考えております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	活動プログラムは、担当職員が他の職員からアドバイスをもらいながら、立案しております。職場に滞在している時間が異なるため、チームでの立案は難しいのが現状です。	ほとんど担当職員に任せきりになっているため、立案方法を含め、再度検討したいと考えております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	直接支援する職員から、プログラムやイベント案を募り、マンネリ化しないよう心掛けております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別支援計画には、個別・集団活動の両内容を記載し、支援に取り組んでおります。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	支援開始前には、朝礼や昼礼を行い、その日の活動内容等について職員間の展開を実施し、お子様を迎え入れる用意をしています。	毎朝、しっかり行われておりますので、今後も、継続していきたくと考えております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	支援終了後は、送迎に入るため、大切な申し送りはなされているが、（勤務時間の関係上）翌日の報告になる場合もございます。	当日が無理だった時は翌日の朝礼時に振り返りも行ってあります。また、前日と違う職員が出勤することが多くあるため、前日の情報を朝礼にて共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々の支援記録は、サービス提供記録に記載し、WebソフトであるHUGに保管されております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	モニタリングは定期的に児発管が行い、保護者様からのニーズの聞き取り等を実施し、個別支援計画の見直し・反映を行っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1	ガイドラインの基本活動を踏まえ、支援を行っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	お子様の自己選択の支援のため、どのプリントをしたいか？やどっちが良い？などの選択肢を取り入れております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。	
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	主に児発管が参加しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	少数ではございますが、お子様がご利用されている病院の主治医の先生やご担当される保健師の先生ならびにあおぞら園の先生との情報共有を始めております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	各保護者様からの情報共有を実施しており、適宜、通われているあおぞら園様との情報共有も進めております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	あおぞら園様との情報共有や園の見学などを実施させていただきました。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	まだ、お子様の中に対象者はおりませんが、卒業した者が出た時は情報提供を行いたいと考えております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	今後、必要になってくると思いますが、現在では、あおぞら園様との間での情報共有のみ実施しており、スーパーバイズを受ける機会はありません。	今後、機会があれば実施していきたいと考えております。

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	10	現在では、通所されているお子様が他のお子様と交流する機会は、図書館での活動時（読み聞かせ会に参加）等に限られており、機会が少ないのが現状です。	地位義行事への参加や（小規模）交流保育の機会が出来れば良いと思いますので、職員間で検討したいと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6	子ども部会に参加しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々のお子様のご様子は、HUGを通してご連絡しており、個別のご相談にも適宜、対応しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	ペアレントトレーニング等は実施できておりません。	弊所から家族支援プログラムとしてどのようなことができるのか？など研修に参加して、職員の資質向上につなげたいと考えております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	ご契約時に詳しく説明するように心掛けております。	直接支援を行う職員には、療育の制度や成り立ち等勉強する機会を創出し、職員の資質向上につなげたいと考えております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。ただし、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、その時は、保護者様からのニーズにて支援計画を策定しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。ただし、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、その時は、保護者様からのニーズにて支援計画を策定しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	ご家庭の支援の一環として、適宜、お悩みごとに対して、面談等を実施し支援を行っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	9	保護者会、保護者同士の交流の場は、まだ、設けられておりません。保護者様各位とは、個々には交流を深める対応を行っております。	保護者会や茶話会など、今後、行ってきたいと考えておりますが、茶話会など事業所を開設して行うことが難しいのが現状です。また、活動を取り入れている施設を参考に聞いてみたいと考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	保護者様からの苦情やご連絡は、各職員へ共有し、迅速かつ適切に対応するよう心掛けております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	イベント等は、各保護者様へ個別に情報をご提供しております。また、日々の支援内容等につきましては、Instagramでの展開やHUGを通じた写真や状況のご連絡などで発信しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	写真の送付時には、他のお子様が無断で写らない様に心掛け、Instagramへのアップには、同意を得たお子様のみ掲載（顔は隠す）しております。また、お子様の個人情報の書類は、外部への持ち出しは禁止し、留意しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	適宜、お子様の思った事や感じたことを傾聴し、意思への配慮を実施しております。また、各保護者様とは、LINEやお電話を通じた情報交換・共有を行う等実施しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	事業所の行事に地域の方を招待するなどは、実施しておりません。	まだ、招待など実施した事はありませんが、今後、必要になってくると考えますので、職員を含め検討していきたいと考えております。なお、職員が他の施設が行ったイベントや研修に参加したことはございます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各種マニュアルは作成し、計画的に訓練を実施しております。また、消防署への見学等、施設外での体験等も実施しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	BCPの策定を行い、研修とともに訓練も実施しております。また、非常食や避難用グッズ等も常備するようにしております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	現在、ご利用されるお子様で服薬等の措置が必要な方はいらっしゃいません。	予防接種は確認しておりませんので、今後、確認するよういたします。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	現在、ご利用されるお子様で食物アレルギーをお持ちで医師の指示書がある方はいらっしゃいません。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画は、多機能型児童発達支援 はにーびーのホームページに掲載しており、計画に基づいて、各種訓練や点検等を実施しております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	各種訓練については、取り組み内容等、保護者様と共有が図れております。	今後、さらに共有が図れるよう、情報展開の内容を精査いたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハット用の報告をファイルにまとめ、いつでも閲覧できる状態にしております。また、ヒヤリハットが発生した場合は、各職員へ情報展開を実施し、会議等で共有化を図っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	定期的に虐待防止研修等を開催し、虐待防止対策を行っております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	職員には定期的に身体拘束の研修を開催し、お子様への身体拘束を行う場合について、個別支援計画に記載しております。また、保護者様へは、同計画の説明時に身体拘束についてもお伝えしております。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。